

除細動器って、 なに？

あつ！人が倒れた

もし、あなたの目の前で大人の人が胸が苦しいと言って突然倒れたら？ありえない話ではありません。今までは119番に通報して救急隊が駆けつけるまで一般市民は見るしかありませんでした。しかし、今年の7月からは医師や救急隊員のみならず、一般市民でも除細動器を使って倒れた人の命を救う事ができるようになったのです。

早く心臓を動かすために

成人が突然倒れ、意識がなく脈が触れない場合でも、心臓はふるえる様に動いていることが多いのです。心電図の波形を見ると、この時は心室細動という状態で、このふるえる心臓を普段の脈打つ状態に戻すことを除細動と言います。この心臓の動きを取り戻す除細

動の成功率は発症から1分経過するごとに約10%ずつ低下する事がわかっており、10分も待つていたら命を助ける事ができません。

自動体外式除細動器(AED)

電気ショックを与えて心臓の動きを取り戻す電氣的除細動器と言えば、よくテレビドラマなどで医師が患者の胸に2つの電極板を押しつけて使用するあの器械を想像しがちです。しかし、病院の外で一般市民にも使用できるよう開発されたのが自動体外式除細動器です。今では旅客機、空港などに配備され、搭乗員や空港職員が訓練を受け、いつでも使用できるようになっています。

岡谷市にも除細動器が

今年の7月、医師法の法解釈の緩和により、医療従事者ではない

市民にも除細動器の使用が認められるようになりました。9月4、5日に開催された『おかや健康ふれあい祭り』で、救急隊員による実演をご覧になった人も多いと思います。小学生からお年寄りまで何人かに体験してもらい、操作の簡便さを理解していただきました。岡谷市では、近く市役所等の大勢の人が集まる公共施設に自動体外式除細動器を設置して、市長をはじめ市職員が講習を受ける予定です。

難しくない人助け

もし、あなたの目の前で人が倒れたら？周囲の安全確認、感染防止、意識の確認、人手を集めて「119番に通報をお願いします」「除細動器を持ってきてください」。

講習を受け、訓練を行ったあなたがその場所にいた事で、人の命が助かる事になるかもしれません。

(医師会)

